

文化財を地域創生の柱に

町には三森家住宅などの有形文化財や獅子舞や神楽などの無形民俗文化財、史跡殺生石などさまざまな文化財が数多くあります。それら文化財の歴史的価値を再認識し、その歴史を背景に観光や農業などを融合させ、これからの地域活性化を考える「文化芸術シンポジウム」が12月8日、文化センターで開かれ町民ら約100人が参加しました。

日本遺産統括プロデューサーの本田勝之助氏が「これからの地方創生は文化GDPを上げて未来にふるさとを遺す事業」と題して、那須地域の特長と今後の方向性について講演しました。

パネルディスカッションでは、「地域資源を活用したまちづくり」をテーマに観光、農業、文化の3分野で活躍している方々がパネリストとして、町の魅力や実施している地域づくり、町の将来像について話し合いました。



左から本田勝之助氏、廣川てるみ氏(松川屋那須高原ホテル若女将)、今 耕一氏(那須町農業委員会会長)、渡辺康廣氏(那須町文化財保護審議会副会長)

森のなかで材料探し

12月22日、那須町4公民館共催事業として「那須子ども塾・冬」が開かれ、町内の小学48人が元気に参加しました。

那須町森林組合の協力のもと森林ウォークラリーとクリスマスツリー作りをしました。



笹平湿地で森林ウォークラリー。森のクイズに答えてゴールを目指しました



松ぼっくりと森で集めた材料でツリーに飾り付け。世界にただ一つのオリジナルツリー

MERRY CHRISTMAS!



株式会社いづみ(お菓子の城)片桐社長からクリスマスケーキが、みちのく民芸店(湯本)藤田代表からオモチャ入りせんべいが町内7保育園の園児へ贈られました(12/25 黒田原第1保育園)



全国訪問おはなし隊のキャラバンカーがやってきました。ほかほか陽気の青空の下、楽しく絵本を読みました(11/25 町図書館)



元気いっぱい歌って踊って物語を表現。りんご組劇遊び「うらしまたろう」(12/12 おたのしみ会 那須高原保育園)



東陽小 那須中央中 那須高の児童生徒も参加。町内外から965句の応募がありました(12/2 第27回芦野ふるさと俳句大会 芦野公民館)